

令和6年10月27日

三朝町議会議長 吉 田 道 明 様

議会運営委員会委員長 松原 成利

派 遣 結 果 報 告 書

派 遣 の 区 分	第3条（1）
派 遣 者 氏 名 （全員を記載）	松原成利、石田恭二、藤井克孝、遠藤勝太郎、能見貞明、吉田道明
目 的 （ 調 査 事 項 ）	三朝町議会運営員会所管事務調査 神奈川県開成町 ・議会活性化に向けた取り組みについて 東京都奥多摩町 ・議員定数削減の経緯と現在の状況 ・定住促進支援事業の取り組みについて
目 的 地	神奈川県開成町 東京都奥多摩町
期 間	令和6年10月9日（水）から11日（金）の3日間
視察又は研修の 成 果	① 神奈川県開成町 出席して下さった方 山本研一 議長 武井正広 議会運営委員長 井上しんじ議会運営副委員長 神奈川県西部に位置し、東京から70Km、横浜からも50Kmの距離にあり、県内で1番面積が小さな町。私鉄の開業により利便性が高くなり、町内全域が都市計画区域に指定され、全体が平坦で可住地割合は100%、土地利用は宅地が過半数を占め、新興住宅地として若い子育て世代に選ばれている町。 【議会活性化に向けた取組について】 1. 通年の会期制に移行し、定例会・臨時会の区別を設けず、議会の会期を条例

で定める日から1年間（通年）とすることができるようにした。

2. 日曜議会の実施、傍聴者が減少傾向にあり実施。

3. 議会 ICT 化の推進を令和2年12月から議員にタブレット端末を配布し、会議資料のデジタル化推進。令和3年6月からは、議会映像のライブ配信と録画配信を開始。令和4年9月より議会 WEB サイトを開設し、議会広報誌と議会 WEB サイトの両輪で議会の情報を発信。

三朝町議会では、まずタブレット端末操作に慣れること、ICT 化によるメリットを理解・勉強することが必要だと思う。事務局並びに ICT 化に精通した人たちに協力を求め、議会の見える化を進める必要がある。

② 東京都奥多摩町

出席して下さった方	小峰陽一	議長
	澤本幹男	副議長
	宮野 亨	議会運営委員長
	坂本秀一	若者定住推進課課長
	山宮淳也	若者定住推進課課長補佐

東京都の最北西端に位置する奥多摩町は、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれ、東京の奥庭として親しまれ東京都全体の10分の1に当たるという広大な面積を有し、大部分は山間地であり町の中心を多摩川が貫流している。（昭和30年に2町1村が合併して奥多摩町が誕生。昭和32年11月小河内貯水池「奥多摩湖」完成し東京都の水源地となる。神奈川県より東京都に移行）

【議員定数削減の経緯と現在の状況】

昭和62年定数を16名、平成15年12月定数を14名、平成23年12月定数を12名、近年では令和5年12月より定数を10名とした。附帯決議内容として、12名から10名となるが更なる定数の削減は議会運営に支障が生じるため、今後大幅な社会情勢等の変化があった場合を除き、定数削減を実施しないこととしている。

議会構成としては、三朝町議会と基本的に同じであるが、特別委員会の予算審査は議長を除く全員、決算審査は議長と監査委員を除く全員、衛生組合3名・斎場組合2名と兼務も多く、削減の影響もあった。

削減によって兼務等はあるが、それによる大きなデメリット等は発生していないようだった。定数の削減は、各自治体の人口の増減などの背景を考慮して検討すべきであり、三朝町議会は既に定数の2名削減が決まっている。今後も引き続き町民の意見を議会に反映させ、議会運営に支障をきたすことがないように、慎重に審議を行っていきたい。

【定住促進支援事業の取り組みについて】

人口4,603人で老年人口率52.3%、一般会計予算69億5千万円の内、少子化対策事業3,440千万円・若者定住推進事業費1億9,024万5千円、計2億2,464万9千円で全体の3.23%に当たる予算規模である。

少子化対策事業として特徴的な事業として、保育料全額・小中学校給食費全額・中学校入学時制服購入全額・高校生通学バス・電車助成・多子家庭水道料金一部支援・ひとり親多子家庭ごみ処理支援などを行っている。

定住化対策事業として、町営若者住宅として安価な金額で貸し出す住宅。田舎暮らし支援住宅・若者定住応援住宅として、住居15年間居住した場合に無償で土地・

建物を譲与する。(町が寄付を受けた空き家を活用)子育て応援住宅として、新築住宅に22年間居住した場合に土地・建物を譲与。子育て支援だけでも、夫婦子供3人で高校卒業までで約728万円の支援が受けられるのも、東京都の財政予算規模の違いを痛感した。

財源の差がとても大きいため、すべての良いところを本町に取り入れることは難しいことを痛感した。町と協議しつつ、本町でも実現できる定住支援等の事業を考えていきたい。

以上報告申し上げます。

議会運営委員会副委員長 石田 恭二